

令和3年度 事業報告

【事業報告の概要】

新型コロナウイルス感染の流行から2年が経過する中、いまだに終息の兆しが見えない状況となっています。大垣市内においても教育関係の一時休校や各種イベントや会議等の中止や延期など、様々な対応がされ、例年とは異なる1年が過ぎました。

大垣市社会福祉協議会（以下「本会」という。）におきましても、感染予防対策として、職員の検温やマスク着用、消毒やアクリル板の設置を始め、各種事業や会議の内容変更及び書面開催など、新型コロナウイルス感染症への対応が続く1年となりました。

一方で地域社会は少子高齢化・人口減少が進展し家族・地域形態が変容するとともに、雇用形態の多様化、近隣関係の希薄化などを背景として、様々な面から支援を必要とする高齢者、障がい者、生活困窮者等が増加しています。また、子どもの貧困や社会的孤立といった新たな福祉・生活課題がより一層顕在化するなど、福祉に対するニーズは多様化し増大しています。

このような社会情勢の中、本会では「住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」の実現を基本理念として、地域住民や地域の多様な主体が参画し、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく地域共生社会の実現に向けて取り組みを進めました。コロナ禍で地域交流活動の減少や関係性の希薄化などが進む中で、地域の福祉活動の基盤組織である地区社会福祉推進協議会、ボランティア連絡協議会等と連携し電話や手紙、集合型から訪問型への事業転換、ICTを活用したオンライン会議や講座の開催や動画配信など、集まらなくてもつながり続ける活動が随所で実践され始めました。「コロナ禍だからこそ」という発想の転換が新たなステージへの道標となりつつあります。危機管理体制の強化を図りながら、コロナに負けない・創意工夫による地域福祉活動の推進に努めました。また、令和2年3月よりコロナ禍での失業や減収により生活に困窮した方を対象とする「緊急小口資金等特例貸付（コロナ特例貸付）」については、その最前線窓口として生活困窮者自立支援事業やフードバンク事業、子育て応援事業などと連動させながら、社協ならではの役割を果たし、相談・申請等の支援を行いました。

また、介護、障がい、子ども、困窮の相談支援にかかる事業を一体として実施し、本人・世帯の属性にかかわらず受け止める、包括的・重層的相談支援体制を構築し、本会内においては、地域包括支援センター、障害者生活及び就労支援センター、福祉サービス利用援助事業、日常生活自立支援事業、成年後見支援センター、生活困窮者等自立支援事業、認知症初期集中支援事業等がワンチームとなって対応しました。

在宅介護サービス等については、厳しい経営状況の中、さらに新型コロナウイルスへの対応も必要となり、市民の信頼に応えつつ、職員と利用者の健康と安全を確保し、必

要な福祉サービスの提供を持続するため、新型コロナウイルス感染症の予防を徹底し、利用者様の生活の安定を図り、その方が望む生活を営むための適切で質の高いサービスを提供できるよう事業を実施しました。

コロナ禍の“新しい日常”は、様々な苦難や停滞を生み出しましたが、同時に新たな挑戦や改革に着手し、前進するチャンスであると捉えています。この一年間で学び、考え、実践してきたことを、しっかりと今後の社協活動に活かし、市民の皆様、地区社協、自治会、各種団体、行政と協働し、「オール大垣市社協」で、地域福祉の未来に繋げて行きたいと考えております。

【使命・経営理念への取り組み】

「基本方針」を柱として4つの使命・経営理念の実現への取り組み

- (1) 住民参加・協働による福祉社会の実現を図りました。
- (2) 地域における利用者本位の福祉サービスの実現を図りました。
- (3) 地域に根ざした総合的な支援体制の実現を図りました。
- (4) 地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組みへのたゆみない挑戦を図りました。

【重点目標への取り組み】

市社協「使命・経営理念」の実現に向けて、6つの重点目標を掲げ、その目標の達成への取り組み。

- (1) 社協基盤の強化の推進を図り、安定した財政基盤の確立に努めました。
- (2) 福祉のまちづくりの推進を図り、地域福祉活動の活性化に努めました。
- (3) ボランティア・市民活動の推進を図り、ボランティアセンター機能の充実に努めました。
- (4) 福祉教育、啓発・交流の推進を図り、ともに生きる地域社会の実現を目指しました。
- (5) 情報提供・相談体制、福祉課題の把握の推進を図り、総合的な相談体制の充実に努めました。
- (6) 在宅福祉サービスの推進を図り、質の高いサービスの提供に努めました。

1 総務部会

(1) 組織機能

ア 理事会、評議員会、専門部会の活性化

法人組織体制の強化を図るため、理事会、評議員会、専門部会、特別委員会（訪問看護ステーション運営・専門委員会）等を開催しました。

【会議の開催状況】

名 称	日 付	主 な 内 容
理事会	R03. 05. 21 (決議の省略)	1. 令和 2 年度 事業報告の承認について 2. 令和 2 年度 収支決算の承認について 3. 令和 3 年度 第 1 次収支補正予算について 4. 評議員候補者の推薦について 5. 役員候補者の推薦について 6. 令和 4 年度 共同募金配分事業の申請について 7. 令和 3 年度 定時評議員会の招集について 8. 会長及び常務理事の職務執行状況について
	R03. 06. 18 (決議の省略)	1. 会長・副会長及び常務理事の選定について
	R03. 09. 15 (決議の省略)	1. 令和 3 年度 第 2 次収支補正予算について 2. 評議員候補者の推薦について 3. 令和 3 年度 第 2 回評議員会の招集について
	R04. 03. 16 (決議の省略)	1. 令和 3 年度 第 3 次収支補正予算について 2. 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 3. 令和 4 年度 事業計画について 4. 令和 4 年度 収支予算について 5. 役員等賠償責任保険契約について 6. 重要な職員の任免について 7. 令和 3 年度 第 3 回評議員会の招集について 8. 苦情解決にかかる第三者委員の選任について
評議員会	R03. 06. 18 (決議の省略)	1. 令和 2 年度 事業報告の承認について 2. 令和 2 年度 収支決算の承認について 3. 令和 3 年度 第 1 次収支補正予算について 4. 役員の選任について
	R03. 09. 30 (決議の省略)	1. 令和 3 年度 第 2 次収支補正予算について
評議員会	R04. 03. 31 (決議の省略)	1. 令和 3 年度 第 3 次収支補正予算について 2. 令和 4 年度 事業計画について 3. 令和 4 年度 収支予算について

名 称	日 付	主 な 内 容
法人内監査	R03. 05. 10	事業報告、計算関係書類及び財産目録等の適正執行の承認
評議員選任・ 解任委員会	R03. 06. 18 (決議の省略)	1. 評議員の選任について
	R03. 09. 22 (決議の省略)	1. 評議員の選任について
総務部会	R03. 05. 10 (書面報告)	1. 令和 2 年度 事業報告について 2. 令和 2 年度 収支決算について
	R04. 02. 28 (書面報告)	1. 総務部会部会長・副部会長の選出について 2. 令和 3 年度 決算見込について 3. 令和 4 年度 事業計画及び収支予算(案)について
地域部会	R03. 05. 07 (書面報告)	1. 令和 2 年度 事業報告について 2. 令和 3 年度 ふれあいのまちづくり推進大会について 3. 地区社協連絡会について 4. 福祉推進委員連絡会について 5. 地区防災士連絡会について
	R04. 01. 20 (書面報告)	1. 部会事業進捗状況について 2. 令和 4 年度 事業計画について
ボランティア部会	R03. 05. 07 (書面報告)	1. 令和 2 年度 事業報告について 2. ボランティア講座について
	R04. 01. 24 (書面報告)	1. 部会事業進捗状況について 2. 令和 4 年度 事業計画について
事業運営部会	R03. 04. 28 (書面報告)	1. 令和 2 年度 事業報告について
	R04. 01. 31 (書面報告)	1. 事業運営部会部会長・副部会長の選出について 2. 部会事業進捗状況について 3. 令和 4 年度 事業計画及び予算について
訪問看護 運営委員会	R04. 02. 17 (書面報告)	1. 運営状況について 2. 専門委員会の報告について
訪問看護 専門委員会	R03. 10. 20	1. 職員体制について 2. 利用者状況・症例について
	R04. 01. 19	1. 職員体制について 2. 利用者状況・症例について

イ 正副会長会の開催

法人運営の業務執行状況の確認や、理事会、評議員会の議案調整のため正副会長会を開催しました。

【開催状況】

日 付	主 な 内 容
R03. 05. 28	1. 令和 3 年度 定時評議員会及び第 2 回理事会について 2. 次期部会編成について
R04. 03. 02	1. 令和 3 年度 第 4 回理事会及び第 3 回評議員会について 2. 事務局体制の変更について

ウ 苦情解決に関する取組みの充実

本会が提供する福祉サービスに係る利用者等からの申し入れに対して、早期の的確な対応に努めました。

苦情等の問題発生に備え、第三者委員の設置をするほか、管理・監督者向けにクレーム対応研修の実施やヒヤリハット等の取り組みを行いました。

エ 社会福祉法人地域公益実践推進事業

社会福祉法人の責務として位置づけられている「地域における公益的な取り組み」の推進を図りました。また、大垣市社会福祉法人連携協議会の加盟法人と連携・協働、情報を共有し取り組みました。

公益的な取組	内 容
あんしん見守りネットワーク	誰もが孤立することをなくし安心して生活ができるよう地域での見守り活動及びネットワークの構築
食事サービス	ボランティアによる手作りのお弁当を持参し、地域の絆づくりや、ふれあい・見守り活動の一環として実施
ふれあいいいききサロン	高齢者が気軽に集まり、楽しく過ごせる場づくり
お散歩カフェ	相談支援及び介護予防の拠点として、住民が気軽に集まる場づくり
買い物支援	高齢者の生活課題（買い物支援）の解決のため、地域で調査を進めながら実施
支え合いの会	地域での支え合う仕組みづくりを推進
みんなで支え合いバンク	生活でお困りの方に対して、相談や支援に結び付けるため、簡易なフードバンクを実施
法人連携	公益的な取り組みの推進及び法人間の顔の見える関係づくり、新たな社会資源の役割の取組
地区社協との連絡調整	地域ニーズを把握し、解決できるよう地域活動の調査・研究、資源開発

オ 職員育成の充実

職員の資質向上を目的に、法人内研修を実施しました。また、他機関が実施する外部研修にも計画的に職員を派遣しました。

(ア) 管理・監督者合同研修（eラーニング形式で実施）

11 月 1 日から 12 月 31 日

- 所属長・補佐・係長：「適切な対応・防止策を学ぶ ハラスメント講座」 26 人受講
- (イ) 実習生の受入れ
- 社会福祉の専門家（社会福祉士・介護福祉士）や看護師等をめざす学生に、人材育成の一環として実習の場を提供しました。

(2) 財政基盤

ア 住民会員、会費制度の充実

関係機関と連携し、魅力ある社協をめざし、社協活動の PR に努め、賛助会員への理解を求めるとともに、会員の増員を図りました。

一般会員数（世帯数）49,194 世帯、特別会員 2 件、賛助会員 311 件、施設会員 71 件

イ 積立金・基金の拡大及び運用

社協独自の自主財源を確保することを目的に、積立金・基金の確保や資金運用に努めました。

ウ 効果的な資金運用

資産運用について研究を深め、公益性のある法人として、ボランティア活動振興基金等の運用益を事業に運用しました。

エ 共同募金・歳末助け合い運動の推進

共同募金会大垣市支会として、関係機関と連携し、共同募金・歳末たすけあい募金活動の推進を図りました。

「戸別募金」「法人募金」「学校・職域募金」「街頭募金」やバッジ・図書カード・クオカードによる募金等を実施しました。

募金活動の計画的実施、募金の拡大を図ることを目的に、共同募金会大垣市支会理事会を開催しました。

【開催状況】

日 付	主 な 内 容
R03. 05. 21 (決議の省略)	1. 令和 2 年度 事業報告及び決算について
R03. 06. 18 (決議の省略)	1. 支会長・副支会長の選定について
R04. 03. 16 (決議の省略)	1. 令和 4 年度 事業計画及び予算について

(3) 指定管理施設の運営管理

第 4 期（令和元年度～令和 5 年度）を迎えた指定管理者として、総合福社会館、かわなみ作業所、老人福祉センター（大垣、上石津、墨俣）、デイサービスセンター（上石津、墨俣）の適正な管理・運営を図り、施設機能の住民理解をさらに深め、利用者ニーズの

充足を第一としてサービスの提供を行いました。

(※かわなみ作業所は特定指定として平成 26 年度から 10 年間の管理)

(4) 広報活動の強化

ア 大垣市社会福祉大会

新型コロナウイルス感染防止のため、式典および講演会は中止。表彰状及び感謝状の郵送と、広報への掲載を行いました。

と き 8 月 28 日 (土) ホームページ (動画) や社協だよりにおいて、社会福祉功労者、福祉標語入賞者の掲載を行いました。

- ・表彰及び感謝状 14 団体 95 個人

(会長表彰：93 個人、会長感謝状：14 団体・2 個人)

- ・福祉標語の表彰 6 作品入賞

(応募総数：3,902 作品)

一般の部： 20 作品 (内入選 1 作品)

小学生の部：3,139 作品 (内入選 3 作品)

中学生の部： 743 作品 (内入選 2 作品)

- ・記念講演『認知症を予防しよう』講演の動画を作成し、配信をしました。

イ 社協だよりの発行

社協事業について 1 人でも多くの市民に理解していただくため、市内全戸配布による「社協だより」を発行しました。社協会費(4/15)、共同募金依頼(9/15)のため、法人社等にも配布しました。

<年 6 回、4, 6, 7, 9, 12, 1 月 15 日発行> 発行部数 約 57,000 部

社協だよりアンケートモニターを募集し、令和 3 年度は 5 名から延 20 回の回答をいただきました。

【掲載記事】

<4 月 15 日号 (第 271 号) >

- ・令和 3 年度事業計画、予算
- ・令和 3 年度大垣市社会福祉大会標語募集
- ・サロン保険のご案内
- ・「趣味の教室」会員募集
- ・荒崎地区食事サービスボランティア「厚生労働大臣表彰」
- ・大垣市総合福祉会館の紹介
- ・YELL FOR ALL
- ・赤い羽根・歳末 1 月～未掲載分
- ・介護予防教室『はじめての一步』開催案内
- ・おやじさんの料理教室(前期)募集
- ・使用済み切手・テレカ 収集ボランティア募集
- ・ボランティア活動保険加入案内

- ・点訳、音訳ボランティア養成講座募集
- ・社協 SNS の紹介
- ・オンラインモニター募集
- ・有料広告（5 社）、募集

<6 月 15 日号（第 272 号）>

- ・令和 2 年度事業報告・決算
- ・学習支援サポーター養成講座募集
- ・会費依頼・募集
- ・みんなで支え合いバンク紹介（個人・企業・法人募集）
- ・おやじさんの料理教室（前期）中止
- ・社協だよりアンケート用 QR コード
- ・有料広告（5 社）、募集

<7 月 15 日号（第 273 号）>

- ・令和 3 年度 大垣市社会福祉大会開催案内
- ・令和 3 年度 大垣市社会福祉功労者表彰
- ・福祉標語入選者発表
- ・福祉学習モデル事業～地域まるごと防災共育～
- ・福祉推進委員について
- ・初心者ボランティア講座募集
- ・災害協定締結
- ・わくわく！サマースクール募集
- ・子育て応援事業案内
- ・職員採用試験 案内
- ・「大垣市障がい者生活支援センター」「大垣市障がい者就労支援センター」紹介
- ・みんなで支え合いバンク案内
- ・有料広告（5 社）、募集

<9 月 15 日号（第 268 号）>

- ・赤い羽根共同募金運動（令和 3 年度目標額）
- ・赤い羽根共同募金運動 事業紹介（パネル展・コラボグッズ・募金箱設置）
- ・令和 3 年度会費報告・お礼
- ・フードサポートボックス（法人連携協議会）
- ・みんなで支え合いバンク 紹介・お礼
- ・研修ルポ（初心者ボランティア講座）
- ・研修ルポ（わくわく！サマースクール in 大垣社協）
- ・福祉ふれあいボランティアフェスティバル中止
- ・有料広告（5 社）、募集

<12 月 15 日号（第 275 号）>

- ・歳末たすけあい運動
- ・赤い羽根共同募金 報告 お礼

- ・子育て応援事業第2弾 案内
- ・まちがいさがしやってみよう
- ・傾聴ボランティア養成講座開催案内
- ・いきいきサロン 紹介
- ・みんなで支え合いバンク お礼
- ・有料広告（5社）、募集

<1月15日号（第276号）>

- ・会長新年のあいさつ
- ・地区社協活動の紹介【歳末友愛訪問】（東・綾里・安井・荒崎・日新・墨俣）
- ・子どもの意見を聞く会（パネル展）開催案内
- ・見守り協定事業所募集中
- ・生活福祉資金貸付制度のご案内
- ・歳末たすけあい募金 報告
- ・みんなで支え合いバンク お礼
- ・高校生メッセージボランティア
- ・子育て応援事業第2弾 報告
- ・わくわく！ウインタースクール募集
- ・高校生歳末清掃 中止案内
- ・赤い羽根共同募金お礼
- ・赤い羽根共同募金 コラボ案内（呪術廻戦）
- ・「まちがいさがし」やってみよう！解答と当選者
- ・有料広告（5社）、募集

<随時掲載>

- ・寄付、災害義援金お礼
- ・職員募集
- ・収集ボランティア募集、お礼
- ・社協だよりアンケートモニター募集
- ・社協窓口のご案内

ウ インターネット、ソーシャルメディアを活用した広報活動の充実

市民に対してタイムリーな福祉情報の提供をめざして、随時ページの更新をしました。

さらに、社協NOW（ブログ）を活用して、市社協行事や地区社協活動等、さまざまな地域福祉活動を掲載しました。

- ・アクセス総件数：141,702件（昨年度：103,732件）

《ホームページ月別アクセス総件数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
R02	6,157	6,306	6,366	5,421	10,095	9,341
R03	11,698	11,925	11,717	11,811	12,439	11,519
	10月	11月	12月	1月	2月	3月

R02	8,724	8,963	9,240	10,462	9,750	12,907
R03	12,527	13,126	11,684	12,214	10,518	10,524

社協情報誌の発行

「社協のあらまし・地区社協活動のてびき（概要版）」の作成

自治会長・民生児童委員・福祉推進委員（地区代表・副代表）等に配布しました。

エ 広告掲載事業

広告主となる企業等による地域貢献活動と、社協の地域福祉活動の財源確保を目的に、有料広告を掲載しました。

掲載料：広報誌（1区画 3,300 円/号）、ホームページ（1区画 3,300 円/月）

掲載企業数：7 社（広報誌 6 社、ホームページ 3 社）

掲載可能枠：広報誌 0 枠、ホームページ 7 枠

（５） 介護・障がい福祉サービス事業等

ア 居宅介護支援事業

ケアマネジャー（介護支援専門員）が要介護認定を受けた方を対象に、本人やご家族の希望を取り入れ、利用者のニーズを意識した介護サービス計画を作成しました。また、介護サービスがスムーズに実施されるよう、サービス実施機関等との連絡調整を行いました。

① 大垣居宅介護支援事業所

《計画作成件数(要支援)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R02	93	91	89	91	89	90	82	82	81	79	78	82	1,027
R03	79	75	74	73	75	71	72	69	69	68	70	71	866

《計画作成件数(要介護)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R02	230	226	234	233	234	227	228	232	228	226	224	216	2,738
R03	220	217	215	207	209	214	214	220	229	233	227	226	2,631

② 上石津居宅介護支援事業所

《計画作成件数(要支援)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R02	29	28	32	31	30	30	30	32	31	31	32	32	368
R03	34	36	35	33	35	33	33	33	32	32	28	27	391

《計画作成件数(要介護)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R02	114	118	106	109	115	118	110	108	109	105	106	106	1,324
R03	98	102	100	95	100	99	97	98	99	98	95	99	1,180

イ 障がい者サービス 特定相談支援事業

障害福祉サービス等の利用を希望する障がい者（児）の、総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえ最も適切なサービスの組み合わせ等について検討し「サービス等利用計画」の作成、見直し等を行いました。

《計画作成件数(障がい者)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R02	39	22	23	22	24	32	18	27	21	26	22	27	303
R03	24	26	24	22	23	16	32	23	21	30	25	25	291

《計画作成件数(障がい児)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R02	3	3	1	2	2	2	4	1	2	2	1	2	25
R03	3	3	3	1	2	3	3	0	3	2	2	4	29

ウ 訪問介護事業

利用者が安心して安全に在宅生活を継続できるよう、介護保険及び障害者総合支援法による良質なサービスの提供を図るとともに、様々な利用者ニーズに対応するため、サービス提供責任者による定期訪問や管理者を中心とした問題解決を行いました。平成31年4月1日より上石津ヘルパー室はサテライト化し、大垣ホームヘルパー室と統合しました。

① ホームヘルパー室

《利用者数(総合事業)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R02	110	106	105	108	100	102	103	102	106	100	94	93	1,229
R03	92	90	93	92	93	92	85	82	82	79	76	75	1,031

《利用者数(要介護)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R02	97	88	92	89	94	89	93	97	99	96	102	92	1,128
R03	87	87	90	83	80	84	92	96	97	99	95	96	1,086

《延利用回数(要介護のみ)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R02	1,216	1,135	1,131	1,211	1,180	1,154	1,276	1,171	1,240	1,195	1,189	1,210	14,308
R03	1,085	1,030	1,084	1,039	988	1,037	1,056	1,160	1,169	1,061	1,015	1,129	12,853

② ホームヘルパー室(障がい)

《利用者数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R02	66	62	63	64	63	64	62	64	62	62	62	66	760
R03	67	66	65	67	59	62	63	64	62	61	60	55	751

《延利用回数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
--	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----	----

R02	782	746	758	797	743	732	789	715	753	705	690	775	8,985
R03	751	754	745	746	715	713	754	731	757	761	750	854	9,031

エ 訪問看護事業

訪問看護ステーション

小児から高齢者まで、病気やケガにより在宅での療養が必要な人に対し、住み慣れた家庭や地域社会で安心して療養生活が送れるよう、主治医の指示のもと褥瘡や各種経管の管理、介護相談等 24 時間緊急体制で看護サービスを提供しました。

《利用者数(介護保険)》

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
R02	92	90	87	92	91	85	94	93	91	99	93	88	1,095
R03	92	91	93	92	90	94	96	97	98	94	93	91	1,121

《利用者数(医療)》

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
R02	54	50	51	47	51	49	53	53	50	51	51	53	613
R03	51	51	51	52	49	50	50	50	48	53	47	48	600

《延利用回数》

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
R02	1,109	935	1,146	1,133	1,048	987	1,120	1,010	1,054	1,021	1,021	1,194	12,778
R03	1,080	975	1,130	1,110	1,065	1,073	1,177	1,155	1,161	1,104	1,015	1,138	13,283

オ 通所介護事業

通常自宅で行われている入浴や食事の支援や、機能訓練、余暇活動、バイタルチェック等の専門的な支援を行い、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持と家族の介護支援を図りました。

① 上石津デイサービスセンター

《利用者数》

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
R02	76	70	70	70	70	76	75	74	73	70	71	72	867
R03	72	72	70	68	73	72	74	73	71	73	69	73	860

《稼働率》

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
R02	80.64	67.56	82.05	81.48	78.46	82.44	81.48	78.93	76.67	75.83	75.14	75.00	77.97
R03	71.92	75.0	79.36	76.3	79.36	87.05	88.59	90.77	85.90	95.83	79.72	94.2	83.67

② 墨俣デイサービスセンター

《利用者数》

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
--	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	-----	-----	-----	----

R02	49	50	55	51	50	54	56	54	56	49	53	55	632
R03	54	49	51	51	52	48	48	46	44	43	41	36	563

《稼働率》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R02	67.54	68.15	75.54	69.78	68.62	76.00	74.81	71.84	72.77	72.83	74.33	80.59	72.73
R03	73.69	68.0	74.0	74.22	71.85	67.85	71.85	68.31	63.23	61.5	56.33	53.63	67.04

③ 福祉の館 デイサービス青野（地域密着型）

《利用者数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R02	17	16	17	16	14	14	14	13	12	12	12	12	169
R03	12	10	10	11	11	11	11	9	9	9	9	11	123

《稼働率》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R02	66.92	51.54	66.92	68.15	60.38	62.69	63.33	61.60	56.54	56.25	57.08	57.41	60.74
R03	53.08	45.38	45.38	45.93	45.77	46.92	46.54	41.54	42.31	38.33	35.0	36.3	43.54

カ 障がい者サービス 生活介護事業・就労継続B型事業

かわなみ作業所運営事業（指定管理施設）

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業所として、生活介護事業及び就労継続支援B型事業の指定を受け、障がい者に生産活動等の機会を提供しました。

① 生活介護事業【定員：65名】

利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、通所により生産活動の機会の提供、創作的活動、排泄及び食事の介護、その他の便宜を適切かつ効果的に行うことを目的として施設を運営しました。

② 就労継続支援B型事業【定員：35名】

通所により就労や生産活動の機会を提供するとともに、一般就労に必要な知識、能力が高まった者には、一般就労への移行に向け支援することを目的とし施設を運営しました。

《利用者数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R02	96	76	95	96	93	95	95	94	95	92	90	92	1,109
R03	95	93	96	96	95	92	95	96	96	93	90	91	1,128

《延利用回数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R02	1,480	1,137	1,780	1,704	1,558	1,617	1,923	1,661	1,585	1,584	1,429	1,914	19,372
R03	1,789	1,524	1,937	1,685	1,703	1,652	1,903	1,808	1,667	1,182	1,495	1,843	20,188

キ 障がい者サービス 共同生活援助（グループホーム）事業

① かわなみホーム

通所施設等を利用する障がいのある方に、住居を提供し日常生活に必要な介護及び支援を行うことにより、地域生活における入居者の自立と社会参加を促進することを目的とし、かわなみ作業所と連携を図りながら入居者の支援を行いました。

入居定員 19 名（入居者 18 名・体験利用者 1 名）

《利用者数(入居)》

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
R02	18	11	17	18	17	17	17	17	17	17	17	18	201
R03	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	214

《利用者数(体験)》

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
R02	0	1	2	5	9	9	12	10	11	6	7	11	83
R03	7	7	9	4	4	10	10	11	10	6	7	7	92

《延利用回数(入居)》

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
R02	330	254	389	404	354	367	396	358	371	362	340	406	4,331
R03	396	363	426	393	403	359	397	386	370	306	350	413	4,562

《延利用回数(体験)》

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
R02	0	2	12	19	20	20	26	22	27	12	15	27	202
R03	25	22	31	23	22	23	27	25	23	12	14	18	265

ク 障がい者サービス 短期入所（ショートステイ）事業

① かわなみホーム短期入所事業

日ごろ支援をされているご家族が病気等の理由により支援が難しいなどの場合に、短期間での入所をしていただけるよう、ホーム内に 2 部屋専用の部屋を設けて、運営を行いました。（入居定員 2 名）

《利用者数》

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
R02	2	2	2	9	9	8	10	11	8	4	5	5	75
R03	7	9	11	8	5	5	6	8	8	7	5	5	81

《延利用回数》

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
R02	25	16	17	31	34	29	34	34	31	22	26	38	337
R03	54	47	58	54	43	43	50	53	46	34	46	51	579

ケ 老人福祉センター運営事業（指定管理施設）

健康増進・入浴・教養の向上及びレクリエーション、各種相談の場として、高齢者のための便宜を総合的に供与することを目的に運営しました。

① 大垣市老人福祉センター

	開館日数	個人入館者数	入浴者数	団体入館者数	趣味の教室 利用者数
R02	246	1,601	4,880	2,051	2,733
R03	259	2,384	5,060	2,023	2,766

② 大垣市上石津老人福祉センター

	開館日数	個人入館者数	入浴者数	団体入館者数	趣味の教室 利用者数
R02	205	4,741	2,734	956	255
R03	215	4,320	2,473	1,092	325

③ 大垣市墨俣老人福祉センター

	開館日数	個人入館者数	入浴者数	団体入館者数	趣味の教室 利用者数
R02	205	1,436	913	686	2,209
R03	213	3,007	1,062	158	3,013

コ 総合福祉会館運営事業（指定管理施設）

① 大垣市総合福祉会館

市民の福祉活動の拠点とし、市民の福祉向上に寄与することを目的に運営しました。

《利用件数等》

	開館日数	ホール	会議室等	視聴覚室	調理室
R02	273	96	857	15	4
R03	291	144	968	64	5

《利用者数》

	ホール	会議室等	視聴覚室	調理室
R02	3,257	8,262	100	35
R03	3,811	10,250	270	55

サ 福祉バス運営事業（市受託事業）

福祉団体等の社会参加活動を目的に運営しました。

《利用件数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R02	0	0	0	1	1	3	2	3	0	0	0	0	10
R03	2	2	0	1	0	0	2	2	1	1	0	0	11

《利用者数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R02	0	0	0	10	5	21	17	26	0	0	0	0	79
R03	19	19	0	11	0	0	17	20	5	9	0	0	100

2 地域部会

(1) 地域福祉活動計画の事業推進

ア 地域福祉活動計画の推進及び評価

策定した第4次地域福祉活動計画（期間：令和元年度～令和5年度 5ヶ年）を推進し、実施事業の評価を行いました。

(2) 地区社協活動の強化（地区社協メニュー事業の実施）

ア 地域住民福祉活動の推進を支援

地区担当職員が地域活動への相談支援を行いました。

地区担当職員相談支援数（地区社協事業、見守り、サロン、食事サービス、研修会等）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件	199	135	110	83	62	106	121	137	112	124	95	113	1,397

(ア) 地区社協を強化する事業の推進（部会、委員会の開催、地区社協福祉大会等）

市内全地区で地域諸団体が役割分担をもち、各部会（委員会）を設置し、相互の調整を通して組織的な運営を行い、広く地域住民への理解を得るための地区社協活動の支援を図りました。

a 各地区社協総会（評議員会）日程（20地区） ※印：書面等による実施

地区名	開催日	地区名	開催日
興文	5月14日	江東	※4月2日
東	※3月	川並	※5月
西	※5月	中川	※3月28日
南	5月15日	和合	※4月24日
北	※10月	三城	5月23日
日新	※4月	荒崎	※4月
安井	※5月7日	赤坂	※5月
宇留生	※4月	青墓	4月24日
静里	4月16日	上石津	※5月26日
綾里	※4月26日	墨俣	※3月16日

b 地区社協福祉大会の開催（16地区）

地区功労者の表彰、体験発表、講演などを各地区にて行いました。

※印：新型コロナウイルス感染予防の観点から中止（日には年度当初開催予定日）

地区名	開催日	地区名	開催日
興文	9月30日・10月4日	川並	※11月7日
西	※2月27日	中川	※9月5日
南	11月7日	和合	※9月23日
北	※	三城	1月23日
日新	※11月21日	荒崎	※
安井	※10月24日	赤坂	※11月21日
宇留生	※11月14日	青墓	※10月17日
綾里	※8月7日	上石津	※11月

(イ) 福祉の心を育てる事業の推進（地区社協だよりの発行、福祉推進委員研修会等）

- 地域住民等へ福祉に対する理解を深め、福祉のまちづくりにつながる事業を支援しました。
- a 地区社協だよりの発行
地区社協活動を地域住民に周知することを目的に実施されました。
 - b 子どもの意見を聞く会（静里：1月15日（土）、西：3月文集の配布）
日常生活の中で福祉に関する体験を通じた子どもの意見発表が実施されました。
- （ウ） 福祉の輪を広げる事業の推進（歳末友愛訪問、三世代交流事業等）
地域住民全体のふれあい交流活動を通して、福祉の輪を広げる事業へ支援しました。
- a 歳末友愛訪問事業（全地区）
市内全地区社協でひとり暮らし高齢者、寝たきりの方等へ、まごころのこもった贈り物を持って歳末友愛訪問が実施されました。（対象者：2,709人）
 - b 三世代交流事業
三世代がふれあう場を設け、あたたかみのある環境づくりを促進する内容で実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止となりました。
 - c 三世代意見交換会
三世代の意見交流が実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止となりました。
 - d 住民運動会
大人と子どもがスポーツやレクリエーションを通じて、助け合いの心を育むよう各地区にて実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止となりました。
 - e 青少年の健全育成
青少年の健全育成を推進するよう地域環境づくりが行われました。
中川地区：青少年育成関係団体交流会 6月5日（土）中止
- （エ） 「地区社協推進活動に対する助成要綱」に基づく事業への支援
助成要綱に基づき、地区社協事業への支援を行いました。（令和4年3月末現在）

一般会費からの助成事業		共同募金、歳末募金からの助成事業	
助成事業名	助成金額	助成事業名	助成金額
事業活動補助金	11,068,600 円	歳末友愛訪問事業	2,031,750 円
福祉推進委員研修会	70,800 円	高齢者を囲む会 ※	488,182 円
地域防災力向上推進事業	540,000 円	ふれあいいきいきサロン	2,240,000 円

※印：高齢者を囲む会助成は臨時助成を含む

- イ 地区社協のてびき等の作成
地区社協活動の周知・活性化のため「みんなでいいまちつくろうよ 社協活動のあらまし」ダイジェスト版を作成、地区社協会長、民生児童委員、福祉推進委員等に配布しました。

（３） 地区社協との連絡調整

- ア 地区社協連絡会の開催
各地区代表者との連絡調整を行いました。
第1回：6月1日（火） 書面による開催
第2回：2月1日（火） 書面による開催
- イ 地区社協活動計画の評価と進捗状況の把握
20地区社協で作成された地区社協活動計画に基づき、各地区で展開されている事業の進捗状況を把握し、確認や評価を行いました。

ウ 調査・研究事業

地域で暮らす多様な人々が、団体の地域活動や支え合い活動へ積極的に参加できるよう地域活動に対する意識調査・研究について検討しました。（あんしん見守りネットワーク活動状況報告・緊急連絡のてびき・生活支援活動等）

（４） 重層的な地域支えあいネットワーク活動（「見守りネット&ネット」）の推進

ア ふれあい・いきいきサロンの設置・運営

（ア） 20 地区社協主催「ふれあい・いきいきサロン」の設置、運営の推進

高齢者が気軽に集まり、楽しく過ごせる場所をつくることを目的に 20 地区社協を基盤として、各自治会にて登録されました。（助成対象サロン数：224 ヶ所）

地区名	自治会数	実施自治会数	サロン数	地区名	自治会数	実施自治会数	サロン数
興文	55	10	10	江東	20	12	11
東	28	6	6	川並	10	6	6
西	29	19	16	中川	19	18	18
南	28	7	7	和合	8	7	7
北	55	32	19	三城	37	21	8
日新	17	13	13	荒崎	13	11	9
安井	22	9	9	赤坂	22	21	16
宇留生	26	26	5	青墓	13	13	13
静里	14	14	14	上石津	40	26	21
綾里	15	15	6	墨俣	22	22	10
				合計	493	308	224

（イ） 地区別サロン活動推進研修会の開催（全地区）

地区社協ごとにサロン研修会、交流会の開催を支援しました。

（研修、交流内容：各いきいきサロンの活動報告、貸出備品体験、情報交換等）

サロン研修、交流会開催日程一覧

※印：新型コロナウイルス感染予防の観点から中止（日にちは年度当初開催予定日）

地 区 名	開 催 日	地 区 名	開 催 日
興 文	※	江 東	※
東	※	川 並	5 月 19 日
西	5 月 12 日	中 川	4 月 24 日
南	11 月 18 日	和 合	※
北	※2 月 20 日	三 城	7 月 19 日
日 新	※	荒 崎	※
安 井	※	赤 坂	※
宇留生	※	青 墓	※
静 里	※	上石津	※
綾 里	※	墨 俣	4 月 27 日

イ 福祉推進委員活動の支援（福祉推進委員研修会に対する支援）

（ア） ふれあいのまちづくり推進大会の開催

新型コロナウイルス感染予防の観点から全体研修会は中止となりましたが、各地区社協において委嘱式・研修会を開催しました。

開催予定日：6 月 13 日（日）全体研修会は中止、各地区の状況により地区単位で開催。

開催場所：大垣市民会館 ホール

ふれあいのまちづくり事業の一環として、小地域における住民参加型による地域福祉活動を行うため、福祉推進委員を各自治会単位に設置しました。493 自治会から、888 人を設置。自治会内 50 世帯に 1 人の設置を推進しました。

地区別福祉推進委員数(任期：令和 3 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日)

地区名	自治会数	推進委員数	地区名	自治会数	推進委員数
興 文	55	64	江 東	20	41
東	28	38	川 並	10	22
西	29	63	中 川	19	71
南	28	35	和 合	8	23
北	55	93	三 城	37	49
日 新	17	33	荒 崎	13	28
安 井	22	35	赤 坂	22	49
宇留生	26	51	青 墓	13	40
静 里	14	43	上石津	40	51
綾 里	15	27	墨 俣	22	32
			合 計	493	888

(イ) 福祉推進委員連絡会及び役員会の開催

各地区代表者との連絡調整を行いました。

a 福祉推進委員連絡会

第 1 回：6 月 4 日（金） 総合福祉会館

第 2 回：3 月 23 日（水） オンライン研修会

b 福祉推進委員連絡会の部会開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、役員会を開催し部会の開催中止を決定しました。

役員会：12 月 17 日（金）

(ウ) 各地区福祉推進委員研修会の支援

市内全地区で福祉推進委員制度と福祉推進委員の役割、生活支援活動、あんしん見守りネットワーク事業などについて、地区ごとに自治会長、民生児童委員、福祉推進委員などが集り、研修会の開催を支援しました。

※印：新型コロナウイルス感染予防の観点から中止（日にちは年度当初開催予定日）

地区名	開 催 日	地区名	開 催 日	地区名	開 催 日
興文	分散開催	宇留生	※9 月 4 日	荒崎	※
東	※	静里	7 月 20 日	赤坂	7 月 8 日
西	5 月 12 日	綾里	※	青墓	※
	11 月 20 日	江東	7 月 10 日		7 月 24 日
南	7 月 15 日	川並	5 月 19 日	上石津	※2 月 10 日
	11 月 18 日		※2 月		5 月 14 日
北	※2 月 20 日	中川	5 月書面	墨俣	※3 月 18 日
日新	※		10 月書面		5 月 18 日
安井	※6 月	和合	※		※1 月 29 日
	※2 月 20 日	三城	2 月 19 日		

(エ) 福祉推進委員向けの情報誌「ねっとわーく！」の作成（発行月：6・2 月）

ウ 食事サービス・高齢者を囲む会の推進

(ア) 各地区食事サービス・高齢者を囲む会の推進

a 食事サービス事業

ボランティアによる手作り料理（弁当）を持参して、ひとり暮らし高齢者宅等を訪問し、信頼感や安心感を得られるように、地域の絆づくりやふれあい・見守り活動の一環として実施されました。（各地区月１回～４回・昼食又は夕食）

※新型コロナウイルス感染拡大への不安が大きいことによる食事サービス事業実施が制約される中、見守り活動やつながりを絶やさないことを目的とする取組として、臨時事業を実施しました。（臨時事業：購入した食事等を配食）

対 象 高 齢 者：249 人（延べ利用者数：通常 3,054 人、臨時 1,072 人）

ボランティア数：1,096 人

実 施 地 区：通常 8 ヶ所、臨時 6 ヶ所、休止 6 ヶ所(R4.3.31 現在)

b ひとり暮らし高齢者を囲む会

地区内のひとり暮らし高齢者と地域ボランティアが集り、会食・レクリエーションなどふれあいを通して、交流が行われました。

※新型コロナウイルス感染拡大への不安が大きいことによるひとり暮らし高齢者を囲む会実施が制約される中、見守り活動や孤立感の解消を図ることを目的とする取組として、臨時事業を実施しました。（臨時事業：訪問活動と慰問品の配布）

実施地区：高齢者を囲む会通常実施 3 地区 164 人

臨時実施 12 地区 1,448 人

(イ) 食事サービスボランティア代表者会議及び研修会の開催

食事サービスボランティア代表者を対象に代表者会議を開催しました。またボランティアの資質向上と食品衛生管理の徹底を目的に西濃保健所生活衛生課からいただいた食品衛生関係に関する資料を提供し参加者に周知しました。

開 催 日：12 月 7 日（火）

開催場所：大垣市総合福祉会館 4 階 研修室

内 容：意見交換及び食品衛生に関する研修

エ 緊急連絡のてびきの作成

ひとり暮らし高齢者等の緊急時（災害等）に備えて、「緊急連絡のてびき」を民生児童委員の協力を得て作成及び配付するとともに、緊急時の情報利用の効率化を図り、あんしん見守りネットワーク活動につなげるため、データ化を図りました。

緊急連絡のてびき作成数（R4.3.31 現在）

地区名	自治会数	てびき 対象者数	地区名	自治会数	てびき 対象者数
興 文	55	224	江 東	20	179
東	28	225	川 並	10	54
西	29	388	中 川	19	333
南	28	296	和 合	8	108
北	55	538	三 城	37	341
日 新	17	136	荒 崎	13	164
安 井	22	221	赤 坂	22	287
宇留生	26	258	青 墓	13	186
静 里	14	233	上石津	40	178
綾 里	15	67	墨 俣	22	110
			合 計	493	4,526

オ あんしん見守りネットワーク事業の推進

自治会を単位として自治会長、民生児童委員、福祉推進委員が連携をとり、誰もが孤立することなく安心して生活できるよう、見守り対象者への声かけ等を実施し、見守り活動を推進しながら、あんしん見守りネットワークの構築を図りました。

あんしん見守りネットワーク状況報告 (R4.3.31 現在)

地区名	自治会数	見守り対象者数	見守り会議実施数	地区名	自治会数	見守り対象者数	見守り会議実施数
興 文	55	238	17	江 東	20	193	3
東	28	364	9	川 並	10	50	4
西	29	289	9	中 川	19	229	17
南	28	245	3	和 合	8	114	1
北	55	370	12	三 城	37	298	10
日 新	17	136	2	荒 崎	13	164	4
安 井	22	197	3	赤 坂	22	253	9
宇留生	26	371	18	青 墓	13	157	8
静 里	14	229	14	上石津	40	677	8
綾 里	15	98	4	墨 俣	22	203	21
合 計					493	4,875	176

カ 地域支援ネットワーク委員会及び小地域支援ネットワーク会議（自治会単位）の開催

地域で支援を必要とする方が、地域から孤立することなく住み慣れた地域で安心して継続した生活を営むことができるような体制整備（地域支援ネットワーク委員会及び小地域支援ネットワーク会議の開催）を推進しました。

各地区地域支援ネットワーク委員会日程一覧

※印：新型コロナウイルス感染予防の観点から中止（日にちは年度当初開催予定日）

地区名	開 催 日	地区名	開 催 日	地区名	開 催 日
興文	※	綾里	7月11日	荒崎	※6月
	※		3月2日		※1月
東	※7月17日	江東	※	赤坂	※
	※11月20日		※		※2月
	※2月9日	中川	※6月	青墓	5月11日
安井	※6月		11月11日		11月15日
	※2月9日		※3月10日		※2月
宇留生	※	和合	※6月	上石津	6月21日
	1月21日		※3月		1月17日
静里	5月14日	三城	6月16日	墨俣	4月20日
	※2月		12月2日		※1月

キ 地域防災力向上推進事業

地区社協及び地区防災士会と連携した災害時要援護者避難訓練を含めた防災訓練を各自治会単位で実施し、要援護者の把握と支援方法等の推進を図りました。

ク 見守り関係事業所との協定事業

市内の見守り関係事業所（新聞販売店、郵便局、金融機関、宅配業者等）66事業所と継続し

て見守り活動について連携を行い、見守り活動の強化と推進を図りました。

今年度は新たに2事業所と協定を締結しました。(合計68事業所)

(ア) 新規事業者

①特定非営利活動法人 清爽力 ②株式会社 ショクブン

(イ) 見守り関係事業所から気になる方や心配な方等の情報提供により、早期発見・早期対応を行い、見守り支援者や関係機関と連携し支援しました。

(相談件数10件…新聞販売店・配食業者)

また、関わったケースに関して、見守り関係事業所へ情報提供をメール配信しました。

(メール配信登録事業所のみ)

(ウ) 大垣警察署と見守り対象者を子どもに広げたK(子ども・高齢者)M(見守り)K(声かけ)協定の推進を行いました。

(エ) 見守りに関する情報共有を目的に見守り関係事業所連絡会を開催しました。

実施日:3月 書面による開催

内 容:見守り関係事業所への事例報告

ケ 福祉学習モデル事業

県社協の助成事業「福祉学習モデル事業(安心なまちづくり推進事業)」を北地区社協が実施しました。コロナ禍のため、北地区社協(地区センター)と北小学校・中学校をオンラインでつなぎ、市危機管理室や防災支援ネットワークを講師に防災について研修をしました。また、地域・家庭・学校が水害について考える機会づくりとして、地域から水害に係る写真を募集し、北地区センター(10月)・北小学校(11月)・北中学校(12月)・市総合福祉会館(1月)において写真展を開催しました。

コ 生活支援事業

(ア) 買い物支援

高齢者の生活課題(買い物支援)の解決のため、地域で調査を進めると共に綾里、上石津にて実施しました。また、青墓地区において試験的に実施しました。

(綾里地区)4月~3月

実施自治会数:1自治会

利用登録者数:12人

支援実績:運行回数…23回、延べ利用人数…177人

(上石津地区)4月~3月

実施自治会数:2自治会

利用登録者数:17人

支援実績:運行回数…29回、延べ利用人数…113人

(青墓地区)12月・1月

実施自治会数:2自治会

利用登録者数:14人

支援実績:運行回数…2回、延べ利用人数…14人

(イ) 新型コロナウイルス感染症対策地域福祉推進業務(市受託)

新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者となった高齢者の方などに対し、買い物の代行支援を行いました。

支援実績:1件

サ 地区防災士の支援

大垣市地区防災士連絡会を開催し、各地区代表者との連絡調整を図りました。

第1回：6月30日（水）

第2回：2月 書面による開催

シ 生活支援活動拠点整備事業

（ア） お散歩カフェ

相談支援及び介護予防の拠点を、「お散歩カフェ」の名称で整備し、住民が気軽に集まる場を提供しました。（4地区）

a 「うるおい」（宇留生地区） 毎月第3土曜日 宇留生地区センター修明館

新型コロナウイルス感染予防の観点から開催を見合わせました。

b 「あやの」（綾里地区） 毎週水曜日 綾野公民館・綾里地区センター

開催日：24日 延べ利用者数：360人

c 「オレンジ」（三城地区） 毎週火曜日 在宅福祉サービスステーション

新型コロナウイルス感染予防の観点から開催を見合わせました。

d 「おしゃべり広場東」（東地区） 毎週第1・3土曜日 東地区センター

開催日：10日 延べ利用者数：283人

（イ） お散歩カフェ わがまる地域勉強会（寄ってこ知ってこ）

お散歩カフェ利用者向けに、身近な場所で健康や介護、認知症など気軽に楽しく学べる講座を実施し、我が事まるごとに向けた地域共生社会の浸透を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により未実施となりました。

ス 子育て応援事業

児童扶養手当等を受給する母子世帯等に対し、生活用品等を購入するための商品券を配布しました。利用者数：899世帯 1,367名

また、年末には、お弁当を配食しました。利用者数：83世帯 245人

3 事業運営部会

(1) 相談・支援体制の強化（総合相談窓口体制）

ア 地域包括支援センター事業

地域の高齢者の心身の健康保持と生活の安定のために必要な相談・援助を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に継続して支援しました。さらに、地域の関係機関等とのネットワークを構築し、地域住民の様々なニーズに応えることができるよう地域拠点としての機能充実を図りました。社会福祉士、保健師等、主任介護支援専門員の3職種が配置されています。

【組 織】

エリア名	地区名	設置場所	実施機関
中央地区	興文・東・西・南	総合福祉会館	大垣市 社会福祉協議会
西地区	南杭瀬・日新・静里・綾里・荒崎		
東・墨俣地区	和合・三城・墨俣	在宅福祉サービスステーション	
上石津地区	上石津	上石津老人福祉センター	
北地区	北・中川	中川ふれあいセンター	大垣市 社会福祉事業団
東南地区	安井・川並・洲本・浅草	市役所 高齢福祉課	市役所直営
北西地区	青墓・赤坂・宇留生	お勝山ふれあいセンター	大垣市 社会福祉事業団

(ア) 総合相談・支援業務の実施

a 総合相談の実施

地域住民からの様々な相談を受けて、個別訪問等を行いどのような支援が必要かを把握し対応しました。(相談内容：介護保険、認知症、福祉サービス、医療・保健、家族関係など)

【総合相談件数：延べ6,024件】

担当エリア	相談件数
中央地区	2,136
西地区	1,342
東・墨俣地区	1,636
上石津地区	910
合計	6,024

b 地域ケア個別会議の開催

個別ケースの課題（認知症、家族関係、虐待など）について他機関・他職種で検討しました。

【開催件数：41件】

担当エリア	開催件数
中央地区	23
西地区	2
東・墨俣地区	11

上石津地区	5
合計	41

c 地域住民向けの広報誌の発行

「地域包括支援センターだより」の発行

定期の発行（4月・6月・8月・10月・12月・2月）

※年金支給月に合わせ偶数月の発行

配布先…民協・地区センター・医師会・薬剤師会・歯科医師会、保健センター

老人福祉センター、大垣共立銀行（本店・18支店）大垣西濃信用金庫（本

店・18支店）、西美濃農業協同組合（本店・20支店）、十六銀行（6支店）

各地区のいきいきサロン、地域支援ネットワーク委員会、班回覧など

(イ) 高齢者等の虐待防止・早期発見・権利擁護事業の実施

a 高齢者虐待・消費者被害への対応

高齢者虐待、消費者被害の相談を受けて、個別訪問等を行いどのような支援が必要かを把握し、必要に応じて他機関との連携を行いました。

【相談対応件数：延べ159件】

担当エリア	高齢者虐待	成年後見	消費者被害	合計
中央地区	44	42	0	86
西地区	16	3	0	19
東・墨俣地区	7	17	1	25
上石津地区	0	19	10	29
合計	67	81	11	159

b 地域の民協やサロンに出向き、高齢者虐待、消費者被害を予防する情報発信を行いました。

【地域活動参加件数：196件】

地域活動	民協定例会議	地域密着型運営推進会議	地域支援ネットワーク委員会・地区社協三者研修会	出前講座（サロン老人会）	その他（見守り会議等）	合計
中央地区	34	1	2	0	0	37
西地区	35	1	2	3	0	41
東・墨俣地区	29	0	7	1	6	43
上石津地区	17	1	4	16	37	75
合計	115	3	15	20	43	196

c 大垣市高齢者権利擁護研修会開催

大垣市・介護サービス事業者連絡会共催にて実施：(ウ) d-(b)に掲載

(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント業務の実施

a ケアマネジャーからの個別相談（介護保険、認知症、福祉サービス、生活困窮、家族関係、医療・保健など）を受けて指導・助言を行いました。

【ケアマネジャー相談件数：延べ 939 件】

担当エリア	相談件数
-------	------

中央地区	330
西地区	193
東・墨俣地区	359
上石津地区	57
合計	939

b 大垣市ケアプラン点検協働事業

各事業所より提出されたケアプランを通して担当ケアマネジャー（事業所）と包括の担当者が協働し確認する中で、気づきを得、利用者の自立支援に繋がるケアマネジメントの資質の向上を図り、ケアマネジャーが抱えている課題を把握する事を目的として実施しました。（21 事業所）

c 大垣市主任ケアマネジャーの会

目 的 地域のケアマネジメントリーダーとして共に自立支援型ケアマネジメントの推進。包括的・継続的ケアマネジメント体制づくりのための連携。個々の関わりの中から地域の課題を把握し、課題の改善に向けた取り組みの提案。

対象者 46 事業所 主任ケアマネジャー 74 人

第1回 6 月 9 日（水）場所：オンライン

内 容 「ケアマネとしての終末期への関わり方」 参加者 78 人
（大垣市介護サービス事業者連絡会 ケアマネ部会共催）

第2回 8 月 11 日（水）場所：大垣市情報工房 スイंकホール

内 容 「訪問看護師とケアマネジャーの連携と協働にむけて」参加者 84 人
（大垣市在宅医療・介護連携推進事業共催）

第3回 11 月 11 日（木）場所：大垣市情報工房 2F 会議室 1.2.3

内 容 「スーパービジョン演習～実践してみよう！①」 参加者 37 人

第4回 1 月 12 日（水）場所：大垣市情報工房 2F 会議室・多目的研修室

内 容 「スーパービジョン演習～実践してみよう！②」 参加者 34 人

d 大垣市介護サービス事業者連絡会との連携

事務局として会務の運営を担いました。

(a) 役員会 4 月 21 日（水）、6 月 16 日（水）、8 月 18 日（水）、10 月 20 日（水）
12 月 15 日（水）、2 月 16 日（水）

(b) 定例会（研修会）

第1回 7 月 21 日（水）場所：オンライン

内 容 災害対策（BCP の策定）について

講 師 NPO 法人 高齢者すまいる研究会 理事長 寺西 貞昭 氏

参加者 55 事業所

第2回 9 月 15 日（水）場所：オンライン

内 容 「大垣市高齢者虐待防止研修会」

① 大垣市の高齢者虐待の現状について

② 「養介護施設従事者による高齢者虐待防止

～身体拘束（スピーチロック含む）廃止への理解

講 師 日本福祉大学・人間環境大学 非常勤講師
 社会福祉法人 仁至会 サンサン大府施設長 塚本 鋭裕 氏
 参加者 59 事業所

第3回 11月17日(水)場所：オンライン

内 容 「認知症の理解とケアの方法について」

講 師 大垣市社会福祉協議会 認知症初期集中チーム 認知症認定看護師
 鈴木 弥生 氏

参加者 57 事業所

第4回 1月19日(水)場所：オンライン

内 容 「注意すべき 呼吸器感染症」

講 師 大垣市民病院 呼吸器内科 医長 中島 治典 氏

参加者 63 事業所

第5回 3月16日(水)場所：オンライン

内 容 「人手不足への対応について」

講 師 医療法人財団 百葉の会 人材開発室部長 高口 光子 氏

参加者 74 事業所

e 認知症サポーター養成講座の実施：3 件

6月1日(火) 15人 和合地区センター

6月17日(木) 17人 西地区センター

6月28日(月) 15人 日新地区センター

(エ) 介護予防ケアマネジメント事業（第1号介護予防支援事業）の実施

基本チェックリスト該当者、要支援と認定された方を対象に訪問型サービス、通所型サービス等必要な援助を行いました。

(オ) 指定介護予防支援事業の実施

介護保険における予防給付の対象となる要支援者が介護予防サービス等の適切な利用ができるよう指定介護予防支援を行いました。

【介護予防ケアマネジメント事業・指定介護支援事業給付管理数：10, 574 件】

区 分	直 営	委 託	合 計 (新規)
介護予防マネジメント	617	1,746	2,363 (60)
基本チェックリスト該当者	275	465	740 (46)
介護予防支援	1,785	5,686	7,471 (146)
合 計	2,677	7,897	10,574 (252)

イ 認知症初期集中支援推進事業

介護保険法に基づき、認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築しました。

40歳以上で、在宅で生活している認知症が疑われる人又は認知症の人で、医療・介護サービスを受けていない人、受けている人で対応に苦慮している人に対して、訪問し心理的サポ

ートや助言、医療・介護サービス導入支援、生活改善等の支援を行いました。

【相談・対応件数】新規相談：150 件 継続：377 件

新規チーム対応：36 件 チーム対応継続：669 件 終了・モニタリング：227 件

【チーム員会議】開催頻度：毎月 1 回（第 2 月曜日）オンライン会議

メンバー：認知症サポート医、認知症地域支援推進員、アドバイザー（認知症看護認定看護師）

オブザーバー（認知症疾患医療センター）、地域包括支援センター

検討ケース：新規 38 件 継続：71 件 終了：80 件

【認知症普及啓発】（参加人数）

・笑話歯動場 9 か所（148 人）

・認知症サポーター養成講座開催 9 か所（505 人） 青墓地区四者研修会 荒崎小学校 6 年生
星和中学校 1 年生他

・認知症勉強会等 9 か所 大垣市介護サービス事業者連絡会 南地区社協三者研修会他

・拡大エリア会議参加 認知症ケースカンファレンス参加

・西濃認知症多職種ネットワーク研究会参加

・認知症家族の会参加 毎月第一木曜日

・ぽーればーれ参加

ウ 在宅介護支援センター事業

要援護高齢者及びその家族からの相談に対応し、また地域支援事業における介護予防事業を実施し、在宅で生活する一般高齢者及び要援護状態になる恐れのある高齢者の状態の維持・回復の支援に努め、介護予防教室(はじめの一步)を開催しました。

【参加者数:延べ 186 人】

開催場所/開催回数	参加人数
大垣市老人福祉センター(午前)/月 1 回	50
大垣市総合福祉会館(午後)/月 1 回	57
上石津老人福祉センター/月 1 回	29
墨俣老人福祉センター/月 1 回	50
合 計	186

内 容：適切な運動、運動と血圧、からだのしくみ、筋力を高める方法、柔軟性を高める方法

転倒のしくみ、バランスの良い体づくり、骨粗鬆症とは、ストレスと免疫、正しい姿勢

講 師：(有)アスプランニング スタジオゼーニース

エ 障がい者生活支援センター事業

専門相談員を 1 人配置し、在宅で生活している障がい者に対して、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活を高めるための支援、介護相談及び情報の提供などを総合的に行いました。

(ア) 障がい者に関する総合的相談業務

(イ) ピアカウンセラーの配置（肢体 7 人（手話 1 人）、視覚 1 人、聴覚 1 人）

【相談件数】1, 314 件（相談員 916 件、ピアカウンセラー 398 件）

【相談内容】社会参加・余暇活動に関する支援、福祉サービス利用等に関する支援、不安の解消・情緒に関する支援、生活技術に関する支援、健康・医療に関する支援、就労に関する支援、家族関係・人間関係に関する支援、家計・経済に関する支援、保育・教育に関する支援、障害や症状の理解に関する支援、権利擁護に関する支援

オ 障がい者就労支援センター事業

専門相談員 1 人を配置し、障がい者の社会参加と自立を促進させるため、「大垣市障がい者就労支援センター」において相談、職場や自宅への訪問等、障がい者の就労にかかる支援を行いました。

【相談支援件数】

新規相談件数 91 件（身体 19 件、知的 4 件、精神 39 件、発達：2 件、高次脳機能：2 件
継続相談件数 311 件 その他:25 件）
支援延べ件数 1, 463 件

【一般就労者数：2 人】男性（精神）、男性（精神）

【福祉的就労者数：12 人】

サービス種別	性別	身体障害	知的障害	精神障害	計
就労移行支援	男	0	0	1	1
	女	0	0	1	1
就労継続支援 A 型	男	0	0	0	0
	女	0	2	2	4
就労継続支援 B 型	男	0	1	2	3
	女	0	0	3	3
計		0	3	9	12

障がい者、家族、支援機関を対象に、大垣市内の就労移行支援事業所、就労継続支援 A 型・B 型事業所が一同に集まり事業所の紹介を行う「福祉就労まるっと相談フェア」は、新型コロナウイルス感染予防のため、中止。

カ 福祉サービス利用支援センター事業

専門員 2 人を配置し、生活支援員や様々な関係機関と連携し、判断能力が不十分な方に対して福祉サービス利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等預かりサービスを行いました。

利用者数：62 人 生活支援員数：4 人

【相談対応件数】

	初回相談件数 (事業について)	初回面談 件数	新規契約 件数	解約 件数	相談援助 延件数
認知症高齢者	2	12	4	11	70
知的障害者等	0	7	1	1	40
精神障害者等	1	3	4	1	443
不明・その他	4	6	0	1	1
合 計	7	28	9	14	554

成年後見制度利用促進事業

高齢者や障がい者等で判断能力が不十分な方への成年後見制度利用に向けた相談・手続き、制度の理解を目的とし地域住民や福祉関係者への普及・啓発を行いました。

【 相談・対応件数 】 41 件 （延件数 49 件）

制度に関する問合せ (概要等)	利用申立手続きに ついて	その他 (一般相談等)
10	22	9

【 申立手続きに伴う個別対応件数 】 8 件

類型	区分	方法	後見人等	生活の場
後 見	認知症	親族申立	法人後見	施 設
後 見	認知症	親族申立	親族（見込）	在 宅
後 見	認知症	親族申立	親族（見込）	在 宅
後 見	精神障がい	親族申立	司法書士（見込）	病 院
保 佐	認知症	親族申立	弁護士	施 設
保佐（見込）	認知症	市長申立	申立中に死亡	—
後 見	認知症	市長申立	司法書士	施 設
後見（見込）	認知症	親族申立	法人後見（見込）	施 設

キ 生活支援相談センター事業

生活困窮者自立支援法に基づき、生活にお困りの方に対して、専門的な知識、相談支援経験を有する主任相談支援員 1 人、相談支援員兼就労支援員 2 人を配置し、就労等の相談支援を行いました。

（ア） 相談実績

新規相談件数：478 件、プラン作成件数：39 件、就労支援対象者数：25 人

就労者数：8 人

（イ） 支援調整会議開催状況

支援対象者の支援の方向性を確認し、計画に基づいた支援ができるよう支援調整会議メンバー（社会福祉課、ハローワーク、主任相談支援員、就労支援員兼相談支援員、市社協地域福祉課）で毎月 1 回、支援計画の確認や評価を実施しました。

開催頻度：月 1 回、プラン確認件数：39 件、評価件数：25 件

（ウ） 庁内連携会議

関係機関と連携し、円滑な相談支援を行うこと、センターの周知を目的に市役所庁内の関係課との連絡調整、情報交換などを行いました。

a 庁内連携会議への参加

日 時：10 月 26 日（火）

場 所：市役所 会議室

内 容：センターの活動状況報告

b 地域共生会議への参加

日 時：5 月 20 日（木）、10 月 14 日（木）、12 月 20 日（月）、2 月 21 日（月）

場 所：市役所 会議室

内 容：地域共生合同会議、相談対応強化について

出席者：社会福祉課、障がい福祉課、高齢福祉課、市社協、大垣市生活支援相談センター

c ひきこもり支援チームプロジェクト会議への参加

日 時：4月28日（水）、5月26日（水）、6月23日（水）、7月28日（水）、
8月25日（水）、9月29日（水）、10月27日（水）、11月2日（火）、
12月22日（水）、1月26日（水）、2月16日（水）、3月23日（水）

場 所：市役所 会議室

内 容：ひきこもり支援に関する勉強会、情報交換、検討会

出席者：障がい福祉課、高齢福祉課、保健センター、社会福祉課、市社協、大垣市生活支援相談センター

(エ) 出張相談窓口の開設

保健センター、社会福祉課と連携し「生活困窮におけるこころの健康相談窓口」を開設しました。

日 時：9月10日（金）、16日（木）、22日（水）9:00～11:00・14:00～16:00

場 所：大垣市総合福祉会館 4階相談室

(オ) 啓発活動

生活困窮者自立支援事業の理解とセンターのPRのため、地域などで行われる各種会議等での事業の説明、センターの機能の周知を行いました。

- ・宇留生地区民生児童委員協議会研修への参加

日 時：11月5日（金）

場 所：宇留生地区センター

- ・北エリア会議への参加

日 時：3月14日（月）

場 所：中川ふれあいセンター

(カ) みんなで支え合いバンク（食料支援）の設置

既存の制度では対応できない相談について、地域ボランティアから提供いただいたインスタント食品等を活用し、食料支援として提供し、次の相談や支援に結びつけるため、簡易のフードバンクを実施しました。

新規利用者：110人、継続利用者：79人、総利用者：189人、支援回数：257回

ク 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯・障がい者、高齢者世帯等に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行いました。

新型コロナウイルス感染症に対応した特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金）を含む。

【県社会福祉協議会が実施する貸付事業の窓口相談及び申請業務実績】

	相談実件数	貸付件数	貸付金額
総合支援資金	4件	0件	0円
福祉資金	28件	1件	730,000円

緊急小口資金	68 件	35 件	2, 213, 000 円
教育支援資金	8 件	1 件	594, 000 円
不動産担保型資金	2 件	0 件	0 円
臨時特例つなぎ資金	0 件	0 件	0 円
生活復興支援資金	0 件	0 件	0 円
特例貸付：総合支援資金	448 件	445 件	※181, 669, 000 円
特例貸付：緊急小口資金	450 件	427 件	87, 100, 000 円
合 計	1008 件	909 件	272, 306, 000 円

※特例貸付総合支援資金延長を含む

(2) 障がい者福祉の推進

ア 社会参加促進事業

講習会については、開催にあたり新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けました。各講習会の開催状況は以下のとおり。その他の各種教室については感染状況等に基づき、適時開催又は中止としました。

① 講習会（点訳講習会、音訳講習会、手話奉仕員養成講座）

○各種講習会開催

	開催時期	回数	人数	修了生
点訳講習会	令和3年7月～令和4年3月 (延期、中断有)	19 (全29)	5	3
音訳講習会	令和3年7月～令和4年12月 (延期、中断有)	全15	6	4
手話奉仕員養成講座	令和3年4月～令和4年3月 (途中中止)	3 (全46)	20	0

② 教室（グラウンドゴルフ、フライングディスク、車椅子ダンス等）

新型コロナウイルス感染状況に応じ、適時、中止等の判断を行っています。

○各種スポーツ教室・大会

	開催場所	回数	人数
グラウンドゴルフ教室	総合体育館	15 回	246 人
グラウンドゴルフ大会	総合体育館	中止	
ボウリング大会	大垣コロナワールド	中止	
車いすダンス	総合福祉会館	7 回	43 人
フライングディスク教室	赤坂スポーツ公園	2 回	10 人

イ 意思疎通支援事業

障がい者のコミュニケーション支援を行い、社会参加の促進を図りました。

(ア) 手話通訳者等派遣事業の実施

派遣回数：241 回 延べ時間数：455.5 時間

(イ) 要約筆記者等派遣事業の実施

派遣回数： 6 回 延べ時間数： 17.5 時間

(3) 高齢者福祉の推進

ア 生活支援体制整備事業

介護保険法に基づき生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備の充実を図りました。

(ア) 多職種・他団体との連携

情報発信及び顔の見える関係づくりのため、各包括エリアミーティングへ参加しました。

(実績：17 回)

(イ) 地域で支え合う仕組みづくりを推進する会議・研修の開催（各地区）

地域支援ネットワーク委員会、三者合同研修会、支え合いの会例会、各部会等へ出向き情報発信及び顔の見える関係づくりに努めました。(実績：20 回)

(ウ) 生活支援活動団体等の関係者のネットワーク構築

岐阜県社会福祉協議会主催による「生活支援活動団体情報交換会（オンライン）」に参加し県下で生活支援を行うボランティア団体と意見交換を行いました。

日 時：令和 3 年 12 月 1 日（水）

参加者数：7 団体 20 名

(エ) 生活支援の担い手の養成、サービス開発等の資源開発

生活支援活動を始めるきっかけづくりを目的に生活支援講座（オンライン）を以下のとおり開催しました。

日 時：令和 4 年 3 月 23 日（水）

内 容：講演会「住民がつながり、支え合うまちづくり」

参加者数：28 名

(オ) 社会福祉法人連携協議会に関する取組み

市内の社会福祉法人 23 法人の加盟による協議会において、公益的な取組の推進及び法人間の顔の見える関係づくり、新たな社会資源としての役割を検討しています。生活困窮者支援に関する事業（食料支援）、法人間の情報共有機会とした情報誌の発行をしました。

(実績：食料寄付数 405 個、情報誌発行数 3 回)

イ 料理教室

60 歳以上の男性を対象に食生活の自立と健康意識の向上を図るために料理教室を保健センター、食生活改善協議会の指導のもと開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となりましたが、必要な方にはレシピの提供をさせていただきました。

(4) 移動支援事業（福祉有償運送事業）

・要介護認定において要支援または要介護と認定された 60 歳以上の在宅の高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な方に対し、移送専用車両により指定の医療機関への送迎サービスを実施しました。

【外出支援サービス利用状況（上石津地域高齢者対応）】

登録者数：65 人 実利用者数：20 人 利用回数：延べ 110 回 利用者数：延べ 123 人

- ・障がい者で、公共交通機関が利用できない方を対象に、送迎サービスを実施しました。

【福祉有償運送事業利用状況】

登録者数：48人 利用者数：延べ23人

利用回数：延べ60回（病院受診：34回、余暇活動：21回、施設通所：5回）

（５）福祉団体等活動支援事業

ア 民生児童委員協議会の支援

民生児童委員協議会の活動（毎月役員会、定例民協・三部会研修等）に支援し、助成しました。

イ 保護司会の支援

保護司会活動（社会を明るくする運動等）に助成しました。

ウ かがやきクラブ大垣の支援

かがやきクラブ大垣主催の高齢者福祉大会に助成予定でしたが、大会が中止となりました。

エ 身体障害者福祉協会大垣支部の支援

身体障害者福祉協会大垣支部が主催する歳末重度障がい者訪問活動に助成しました。

期 間：12月4日以降に実施 対象者：60人

オ 大垣市手をつなぐ親の会の支援

手をつなぐ親の会が主催する特別支援学級卒業生の激励訪問に助成しました。

カ 大垣市母子父子寡婦福祉連合会の支援

大垣市母子父子寡婦福祉連合会が主催する中卒者激励訪問に助成しました。

キ 介護者の会の支援

介護者の会の活動を支援（研修会・会議）しました。認知症高齢者等、要支援・要介護者を抱える家族組織の活動を支援しました。

と き：4月、5月、6月、10月、11月開催 会員数：19人

4 ボランティア部会

(1) 大垣市ボランティア市民活動支援センター運営事業

ア 大垣市ボランティア市民活動支援センター機能の充実

(ア) 相談・斡旋業務の充実

福祉団体・施設・当事者等のニーズを的確につかみ課題解決していくため、コーディネーターによる相談・斡旋業務を実施しました。

ボランティア調整件数：24 件（施設、サロン、学習支援・子ども食堂等への派遣）

(イ) 大垣市ボランティア連絡協議会の支援 【資料 1】

a 役員会の開催：毎月第 1 木曜日

計 11 回（新型コロナウイルス感染予防のため 9 月は中止）

b 各部会の開催

c 主催、協力イベント

岐阜県ボランティア・市民活動 Web セミナーへの参加

とき：12 月 9 日（木） Zoom によるオンライン参加 参加者 11 名

総合福祉会館 4 階研修室にてパブリックビューイング開催

内容：ボランティアのための傾聴

講義・演習

「ボランティアに必要な傾聴方法」

一般社団法人日本傾聴能力開発協会 代表理事 岩松 正史 氏

イ ボランティア登録・活動保険・行事用保険加入の斡旋

(ア) ボランティア登録の充実

・団体 152 団体、5,647 名（令和 2 年度 168 団体、9,141 名）

・個人 62 名（令和 2 年度 60 名）

(イ) 保険の紹介と斡旋機能の充実強化

a ボランティア活動保険加入者数

	通常プラン (350 円)	天災プラン (500 円)	合計加入数
個人	43 名	5 名	48 名
団体	3,065 名	245 名	3,310 名
合計	3,108 名	250 名	3,358 名

b ボランティア行事用保険加入者数

	A 1 (28 円)	A 2 (126 円)	A 3 (248 円)	B (241 円～)	C (28 円)
加入者数	4,596 名	0 名	0 名	0 名	1,195 名
件数	50 件	0 件	0 件	0 件	18 件

c ふれあいサロン保険加入者数

	A プラン (13 円)	B プラン (27 円)
加入者数	5,021 名	653 名
件数	49 件	6 件

d 福祉サービス総合補償加入者数

	Aプラン (17 円)	Bプラン (28 円)	Cプラン (42 円)	オプション 感染症保障 (1 円)
加入者数	2151 名	0 名	400 名	2,450 名
件数	6 件	0 件	1 件	5 件

e 送迎サービス補償加入者数

	Aプラン (1 日 20 円)	Bプラン (年間 2,000 円) 法定乗車定員合計 20 名
加入者数	340 名	240 名
件数	2 件	1 件

ウ 災害ボランティアセンター設置・運営の拡充

(ア) 大垣市災害ボランティア連携会議への参加

- a 平時からの顔の見える関係づくりと、災害時の連携を目的に参加しました。

と き：2月25日(金)

ところ：大垣市役所

- b 災害時に迅速かつ総合的支援活動の連携強化を目的に、大垣青年会議所と大垣市の3者において「災害時における協力体制に関する協定」を締結しました。

と き：7月5日(月)

ところ：大垣市役所

(イ) 研修の実施

- a 大垣市総合防災訓練において、災害現地ボランティアセンターを設置し、災害時におけるボランティア派遣の訓練を計画しましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止しました。

(計画)と き：8月29日(日)

ところ：西小学校

- b 大垣市社会福祉協議会地域福祉課にて、災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練とロールプレイングを実施しました。

と き：2月4日(金)・3月10日(木)

ところ：総合福祉会館

エ ボランティア活動支援

(ア) 使用済み切手収集ボランティア、使用済み切手整理ボランティア活動の支援

使用済み切手・テレホンカード収集ボランティア(年間) 延べ138団体、252名

収集重量：約65kg 換金額：55,000円

使用済み切手整理ボランティア NTT0B むすびの会 個人ボランティア2名

(イ) コピー機・印刷機を利用支援 (ボランティア交流スペースに設置／有料)

ボランティアセンターに設置してあるコピー機・印刷機の利用提供をしました。

コピー機 1枚5円(A4サイズ)

印刷機 無料(用紙は利用者負担、30枚以下はコピー機使用。)

オ 広報活動事業

(ア) マスコットキャラクターの周知

マスコットキャラクター「あいちゃん」を、ボランティアセンター情報誌、募集用紙、ブログ、ホームページ、YouTube でPRしました。

(イ) ボランティア情報の発信（11月、3月発行）

一般向け情報誌『広がれ ボランティアの輪』を発行しました。

(ウ) ブログの活用

インターネット（ブログ）にて講座情報や助成金情報の紹介をしました。

(2) ボランティア育成研修事業

ア 育成研修事業

(ア) 障がい児・者サポートボランティア養成講座

障がい児・者に対し理解を深めるとともに、障がい児・者が地域で共に生活するための共生社会へ向けての公開講座を実施しました。計画していた8月25日（水）は、新型コロナウイルスの感染予防のため延期しました。

と き：3月22日（火）

対 象：障がい児・者サポートボランティアに興味のある方

開 催：総合福祉会館 オンライン（Zoom）でも配信

参加者：13名 オンライン2名

内 容：岐阜聖徳学園大学 教授 安田 和夫氏による公開講座

(イ) 初心者ボランティア講座

「ボランティアとして活動することの楽しさ」「誰かの役に立つ喜び」などを体験を通じて学び、次のボランティア活動参加への動機づけとなるような学びの機会とするため実施しました。

と き：8月3日（火）、4日（水）

参加者：小学3年生から高校3年生までの児童・生徒 実人数25名

内 容：8月3日（火）参加者18名

午前：マジックを覚えよう（講師：手品なかよし会）

午後：覚えたマジックをオンラインを使って、高齢者の方に披露し交流しよう。（協力：墨俣デイサービスセンター）

8月4日（水）参加者20名

午前：バルーンアートを覚えよう（講師：大垣市レクリエーション協会）

午後：コロナ禍でもできるレクリエーションを覚えて楽しもう。

(ウ) 傾聴ボランティア養成講座

高齢者の方等のお話に耳を傾け、心を癒すお手伝いをする傾聴ボランティアの養成を目的に計画しましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止しました。希望者には資料を配布し、2月22日は、感染予防に十分配慮し、地域の福祉を支える会による認知症サポーター養成講座を開催しました。

(計画)と き：1月25日（火）、2月3日（木）、8日（火）、22日（火）

対 象：傾聴ボランティアに興味のある方

定 員：30名

内 容：傾聴ボランティア「みみの木」早川一枝氏による講義及び実習

(エ) 学習支援サポーター養成講座

何らかの困難を抱える子どもたち、若者への学習支援ボランティアを養成することを目的とし実施しました。

と き：6月29日（火）

開 催：オンライン（Zoom）

総合福祉会館にてパブリックビューイング開催

対 象：学習支援に興味のある方

参加者：オンライン16名 パブリックビューイング 4名

内 容：講演『地域に必要なものを地域でつくる挑戦

～ひとりから始めるボランティア組織やNPOの設立事例』

講師：こおりやま子ども若者ネット 代表 鈴木 綾 氏

(オ) 企業向け講座

幅広い年齢層の市民に対し、ボランティア活動への促進へつなげるため計画しましたが、新型コロナウイルス感染予防のため、SDGsの啓発チラシを作成し、大垣商工会議所に設置、西濃地域協議会加盟企業（68団体）に配布しました。

(カ) 生活支援ボランティア養成講座

地域住民による助け合い、支え合い活動を担う人材の育成を目的に計画しましたが、9月は新型コロナウイルス緊急事態宣言により延期、改めて12月27日に高校生を対象に、歳末清掃と合わせて生活支援ボランティア養成講座を計画しましたが、大雪警報発令のため中止しました。

イ ふれあい交流事業

(ア) 福祉ふれあいボランティアフェスティバルの開催

「誰もが住みよい福祉のまちづくり」を目指し、障がい者、高齢者、児童をはじめ、地域でボランティア活動する人々が、ノーマライゼーションの理念をさらに深めることができるように、また誰もが楽しくふれあい、集える交流の場となるよう計画しましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止しました。

(イ) 高校生清掃活動

a 高校生ボランティアによる歳末訪問活動（清掃、高齢者等との交流）を計画しましたが、大雪警報発令のため中止しました。

b 高校生歳末メッセージボランティア

新型コロナウイルスの影響により地域での交流が難しい中、「ふれあい食事サービス事業」の利用者に、市内の高校に通う高校生からの「お元気メッセージ」を配布することで交流を図るとともに、コロナ禍でのボランティア活動のきっかけづくりを目的として実施しました。

募集対象：市内高校に通う生徒（9校）

募集期間：12月13日～12月28日

配布期間：1月4日～1月31日

募集枚数：300枚

配 布 数：253枚（大垣東高校、清凌高校の協力を得て実施）

1月ふれあい食事サービス利用者へ配布。

2月「子どもの意見を聞く会」パネル展でメッセージカードを展示。

・総合福祉会館：2月7日～2月17日

・アクアウォーク大垣：2月18日～2月25日

(ウ) ボランティア交流会

ボランティア活動団体及び個人との交流・情報交換を行い、活動の充実を図ることを目的に計画しましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止しました。

(計画)と き：3月5日(土)

(エ) 子育て支援事業

a わくわくサマースクール

コロナ禍により子どもの居場所が少ない状況の中で、学習支援を通じた子どもの居場所づくりや防災を学ぶきっかけを目的として実施しました。

と き：8月6日(金)

対 象：市内在住の小学1年生から6年生

参加者：9名

内 容：いつもと違う学習環境やみんなで夏休みの宿題をすることで楽しく学習ができる。暮らしのためになることを学習・体験する。(防災についての講義と防災グッズづくり)

b わくわくウィンタースクール

コロナ禍により子どもの居場所が少ない状況の中で、学習支援を通じた子どもの居場所づくりを目的とし計画しましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止しました。

(計画)と き：2月26日(土)

対 象：市内在住の小学1年生から6年生

定 員：20名

内 容：いつもと違う学習環境やみんなで宿題をすることで楽しく学習ができる。暮らしのためになることを学習・体験する。(お金についての講義と体験学習)

(3) 福祉教育推進事業

ア 福祉教育協力校指定事業【資料2】

(ア) 市社協福祉協力校の指定

児童・生徒に「福祉の心」を育てることを目的に、市内の保育園(20園)・幼保園(7園)・幼稚園(10園)・小(22校)・中(10校)・高等学校(8校)を福祉協力校に指定しました。

(イ) 福祉協力校援助事業

a 福祉教育メニュー一覧の作成

b 講演会、研修会への講師派遣や紹介

講師派遣：8件

視覚障がいの方、聴覚障がいの方、点訳ボランティアの方、手話ボランティアの方、車いすの方など

c 体験学習への協力、体験グッズ貸し出し

車いす：3件、高齢者疑似体験教材：2件、点字学習：1件

手話学習：3件、講話：1件

(ウ) 福祉協力校研修事業

福祉協力校連絡会の開催

と き：8月20日(金)

対 象：福祉協力校（大垣市内小中学校・高等学校）福祉教育担当者 等

内 容：『福祉教育から福祉共育へ』

岐阜県社会福祉協議会 主査 土岐 篤芳 氏

新型コロナウイルス感染予防のため、書面での開催となりました。

イ 子どもの意見を聞く会

新型コロナウイルス感染予防のため、形式を変えて実施しました。

子どもたちが、社会福祉について日頃考えていることや実践していることを作文にし、文集を作成しました。また、社会福祉の向上を図るため作文のパネル展を開催しました。

対 象 校：東小、南小、日新小、宇留生小、綾里小、川並小、小野小、赤坂小

時小、一之瀬小、墨俣小

パネル展：総 合 福 祉 会 館（2月7日～2月17日）

アクアウォーク大垣（2月18日～2月25日）

ウ 『あったらいいな、こんな街』調査事業

今後の地域活動に活かすため、福祉のまちづくりに関するアンケートを実施しました。

実 施 校：江東小学校 5年生 81名

調査期間：11月8日～12月10日

調査結果は地区社協、学校、教育委員会に報告し、地区社協等で今後の活動に活かしていけるよう検討します。